

運輸省、乗用車安全機能の自動化に関する開発・採用促進のために  
10年間に亘り約40億ドルを投資予定（1月14日）

運輸省のアンソニー・フォックス長官（Anthony Foxx）は1月14日、ミシガン州デトロイトで開催された北米国際オートショー（North American International Auto Show）において、オバマ大統領が1月12日に行った一般教書演説（State of the Union）の中で言及した21世紀の輸送システムへの投資の一環として、乗用車安全機能の自動化に関する開発・採用を促進するために、10年間に亘り約40億ドルを投資する計画であることを明らかにした。これは、2017年度予算案の一部として含まれることになる。また、フォックス長官は、運輸省が安全性・可動性・サステナビリティの顕著な向上を可能とする革新的な自動化技術の導入において障害となる可能性のある要素の排除に向けても努力していると発表した。さらに長官は、NHTSAが6カ月以内に自律走行車の安全な導入・運用に関する指針の策定等、2016年に運輸省が達成すべきマイルストーン5項目も発表している。

なお、フォックス長官が発表した新たな政策指針は、  
<[www.nhtsa.gov/staticfiles/rulemaking/pdf/Autonomous-Vehicles-Policy-Update-2016.pdf](http://www.nhtsa.gov/staticfiles/rulemaking/pdf/Autonomous-Vehicles-Policy-Update-2016.pdf)>  
からダウンロード可能。

Department of Transportation, *Secretary Foxx Unveils President Obama's FY17 Budget Proposal of Nearly \$4 Billion for Automated Vehicles and Announces DOT Initiatives to Accelerate Vehicle Safety Innovations*

<https://www.transportation.gov/briefing-room/secretary-foxx-unveils-president-obama%E2%80%99s-fy-17-budget-proposal-nearly-4-billion>